

文学部歴史学科・樋口映美ゼミのゼミ生から、アメリカでの研修旅行体験記が届いた。

16日間の異文化体験

UNC学生と親密な交流も

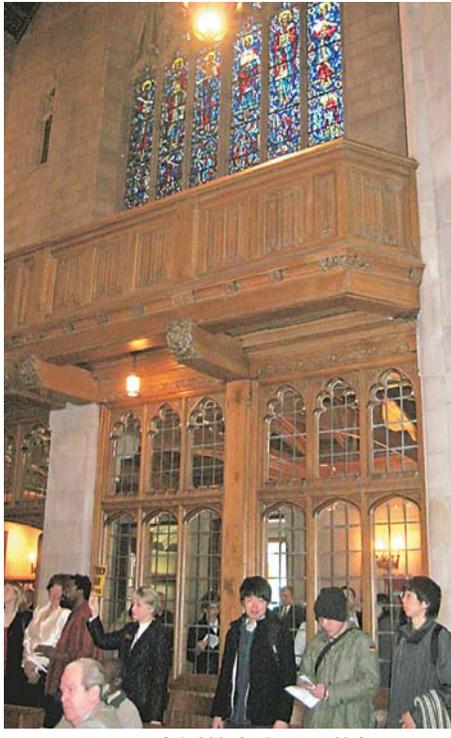
植木 辰典 (文 4)
畑山 慎哉 (文 3)

春の研修旅行(3月3日〜18日)で私たち文学部・樋口映美ゼミの有志たちにとって初めて見る「アメリカ」でした。シカゴの中心街は整然と高層ビルが並び、ピカソなどの著名な芸術家の作品が街のあちこちにあっ

米国ゼミ研修報告

樋口映美ゼミ

まず、シカゴに1週間滞在しました。それは私たちにとって初めて見る「アメリカ」でした。シカゴの中心街は整然と高層ビルが並び、ピカソなどの著名な芸術家の作品が街のあちこちにあっ



▲ 長老派教会の日曜礼拝に参加＝シカゴで



▲ ウィリアムズ先生の授業に参加し、UNCの学生たちと自由討論

その週の火曜日には昨年、樋口ゼミの授業に来ていただいたUNCのヘザー・ウィリアムズ先生の授業に参加しました。授業ではまず私たちが、子どもの成長を祝う七五三や端午の節句などの儀式について話しました。英語でうまく説明できず、学生たちは真剣に聞いてくれました。

その週の火曜日には昨年、樋口ゼミの授業に来ていただいたUNCのヘザー・ウィリアムズ先生の授業に参加しました。授業ではまず私たちが、子どもの成長を祝う七五三や端午の節句などの儀式について話しました。英語でうまく説明できず、学生たちは真剣に聞いてくれました。

責任を持つなどの意見もあれば異性と交際する、政治・経済に関心を持つなどの意見もあり、思想や価値観に共通する点が多いことに驚きました。わずかな時間ながらも外国の同世代の学生と議論して理解を深められたことは貴重な体験でした。UNCの図書館では、3日間かけて卒論に必要な史料探しをしました。アメリカ史に関する蔵書の数は専修大学のそれと比べて膨大でした。現地

書道・折り紙・浴衣… 日本文化を伝えた!

小野 千尋 (ネット 4)

「シルクロードを歩きました」というテーマで1年間、シルクロードについてさまざまな文化やそれに関わる国について調べてきました。その集大成として佐竹教授を含めゼミ生9人で、2月23日から3月3日まで9日間、西アジア北端、南コーカサス地方のグルジアとアルメニア2カ国を回

寄稿 ゼミナール 海外体験記

アルメニア

厳しい恋愛観や家族観 かつての日本の姿?

保原 元気 (商 4)

私たちは春休みにアルメニア、グルジアに行ってきました。アルメニアという国をみなさんは知っていますか? アルメニアは、アジア、欧州、中東と交流し、コーカサス地方の南の山に囲まれている国です。そして5000年の歴史があり、アララト山とい

シルクロードを歩く

佐竹 弘 靖 ゼミ



▲ 前列中央・紫のパーカーが小野さん、その左が保原さん(グルジア・トビリシ自由大学で)

私たちが目的の一つである、グルジア学生との交流会も開かれました。前半に日本の文化を伝えるためプレゼンテーションをし、後半に折り紙、習字、浴衣の着付けなど



▲ 日本から持っていった浴衣を着たアルメニアの学生たちと記念撮影(アルメニア・エレバンで)

恋愛に関してもとても厳しく、キリスト教のしきたりを忠実に守っている国でした。私たち日本人には考え難いことが本当に多くありました。今回のゼミ研修で、日本ではあまり知られていない国に行き、多くのことを学びました。紙面上ではわからないアルメニアの空気、味、雰囲気。日本で本やインターネットで調べるだけでアルメニアのことを知った気になっていました。